

アベノハルカス展望台にのぼる

高さ 300メートル、60階建て、日本で最も高い超高層ビル「アベノハルカス」は、今年の3月7日に開業して半年が経ちました。一時の喧騒はやや和らいだように聞きましたので出かけました。近鉄百貨店の右手に入場口があります。エスカレーターで2階に上がり、展望台入場券を買います。大人千五百円です。そこからエレベーターで16階まで上がります。エレベーターはシースルーで外の景色がよく見えます。

16階から別のエレベーターに乗り換えて60階まで上がります。今度は外の景色は見えません。2階から心太式に押し出されるように人々に混じって16階、そして60階へと着きました。16階から60階までの速さは30秒くらいだったでしょうか。エレベーターを降りるとすぐ、パッと世界がひらけました。一面ガラス張りの吹き抜けで北側の景色が目に飛び込んで来ました。丁度お天気もよく素晴らしい眺望です。真下には天王寺界隈、茶臼山、四天王寺と林立するビル群、真下を見たとき、一瞬めまいを覚えました。あまりの高さに。



左周りに進みます。西側は遠く大阪湾、六甲連山も見渡せます。南は地図によれば住吉大社も見えますようですが、はるかな家並みの中に溶け込んでいます。長居陸上競技場のドームは見えました。東側を見渡すと、遠い山脈の一番高いのは金剛山、左に葛城山、その左にはあのふたこぶらくだの二上山もはっきり見えています。総ガラス張りの展望台は、東西南北すべて同じ造りで、とても見やすくなっています。いいお天気で、遠くまでよく見えました。写真を

20枚ばかり撮り、1時間足らずで展望台を後にしました。 F・M

“秋海棠でますます庭が狭くなり”

庭のあちこちに新芽が顔を出していた秋海棠（しゅうかいどう）。秋はまた一段と茎を伸ばし、花満開。花が咲きだすと間引くわけにいかず、ますます庭が狭くなり、家人は遠慮がちに歩く。中国やマレー半島原産で江戸時代に園芸植物として持ち込まれたらしい。根塊や花後、茎に付くむかごで増える。

俳句の神様の様な正岡子規の句

“臥して見る秋海棠の木末（こずえ）かな”

凡人の句

“痛む肘さすって
やらう秋海棠”

S・U



「VG 槻輪」創設10周年記念パーティー次第
日時：平成26年11月19日（水） 11時から
場所：高槻市役所 総合センター 15階
中華菜館「桃莉」

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 市長の祝辞
4. 乾杯
 - 招待客の紹介
 - 十周年記念ポスターの作品紹介
 - 会員「フェルマータ」の楽しい演奏と合唱
(オカリナ、ヘルマンハーブ、ハンドベル)
5. 楽しい余興
 - 居合道（演武）
 - 喜楽亭キラ子の腹話術
 - 手品「おもちゃ箱」
6. みんなで楽しいゲーム
 - 虫食い川柳
 - 愛の輪リレー
 - ムカゴ競走（一字違いで大きな違い）
7. 会長お礼挨拶と記念品の贈呈
8. みんなで歌いましょう
 - 花は咲く
 - 今日の日はさようなら
9. 閉会の辞

味WAY

今年6月末に息子が“たもぎたけ”というはじめて耳にしたキノコの原木を持ってきてくれました。庭の余り日の当たらない場所に埋めてすっかり忘れてしまっていたところ、10月9日黄色いキノコが顔をだしてびっくりしました。



ネットで調べてみたら以前は東北と北海道にしか生えなくて、薬効もあり味も香りも色も良く、食感もよくて、しかも野菜の少ない真夏に採れるので

とても珍重されたそうです。近年人工栽培が出来るようになって、我々の手にも入るようになったそうです。はじめて見たキノコをうれしくてすぐに写真を撮りました。

天ぷらにしたり、おみそ汁に入れたりして色も香りも味も楽しみました。

今度はいつ出てくるか楽しみにしています。

注記：たもぎたけはヒラタケ科ヒラタケ属のきのこで傘の大きさは2～6センチ、円形で平らに開き、中央部がくぼみ、傘色は鮮やかな黄色～淡い黄色で独特の穀粉（小麦粉）のような匂いがします。

最近、抗がん作用があるといわれるβ-グルカンが多く含まれていることが判明し、特に健康食品としても注目されているようです。 T・O